



このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚

大見郵便局

昭和35(1960)年頃 三野町

昭和12(1937)年に大見郵便事務取扱所が開設され、昭和15(1940)年に大見郵便局として開局している。昭和53(1978)年に現在の郵便局に建て替えられた。

「思い出の1ページ」

「この写真、よく残ったなあ」と懐かしそうに写真を見つめ、笑顔を浮かべる大平静美さん(92)。昭和14年から52年間大見郵便局員として地域とともに歩んできました。

「この郵便局は私の父が昭和12年に開設しました。ここでは貯金や保険、郵便、電話業務を扱っていて、建物に入ると中央に窓口、右手に公衆電話室、左手に応接室がありました。地域とのふれあいを大切に、モットーにしていたんで、応接室ではお茶を飲みながら世間話をし、笑い声が絶えない空間になっていましたね。

小学校が近いので、記念切手が発売されると休み時間なんか嬉しそうに走って来る小学生もたくさんおりましたよ。当時はまだ各家庭に電話がない時代。親戚や知人に連絡を取りに来る人も多く、通信の要でもありました。今みたいにすぐにつながるものではなかったの、朝に連絡を申し込んで、つながるのが夕方という時もありましたからね。電話がかかってくることもあるんですよ。その時は伝言を聞いてから自転車に

乗って本人に伝えに行っていました(笑) 写真の建物は、業務の機械化に伴って昭和53年に建て替えられます。

「機械化が進み、手続きの流れは分かっても、機械の使い方が分からなくて大変でしたよ。それでも、地域に支えられて長いこと勤めることができました。世の中はほんと便利になりました。夢みたいですよ。特に電話というのは、急速な時代の変化を象徴するもんなやと感じますね」



朝 夕の空気はひんやりと冷たまりを感じますね。 さて、今回の特集「ふるさと納税で三豊を元気にしよう!」でご紹介したように、食や自然、伝統工芸など三豊には誇るべき魅力がたくさんあります。皆さんも、季節の変化を感じながらふるさと三豊の魅力を探してみませんか。